

2023年3月期 決算補足資料

2023年5月15日



ダイワホールディングス株式会社

(証券コード : **3107**)

2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）

**ITインフラ流通事業で企業・官公庁を中心に需要を獲得
前期業績に対して大幅な増収増益**

ITインフラ流通事業

パートナーとのコミュニケーション活性化により商談が増加し、企業・官公庁・文教、それぞれの分野において安定的に受注を獲得、製品別ではPCやネットワーク機器を中心に好調に推移
コンシューマ向け市場は量販店向け販売においてPCや新規商材の提案により、前年を超える実績

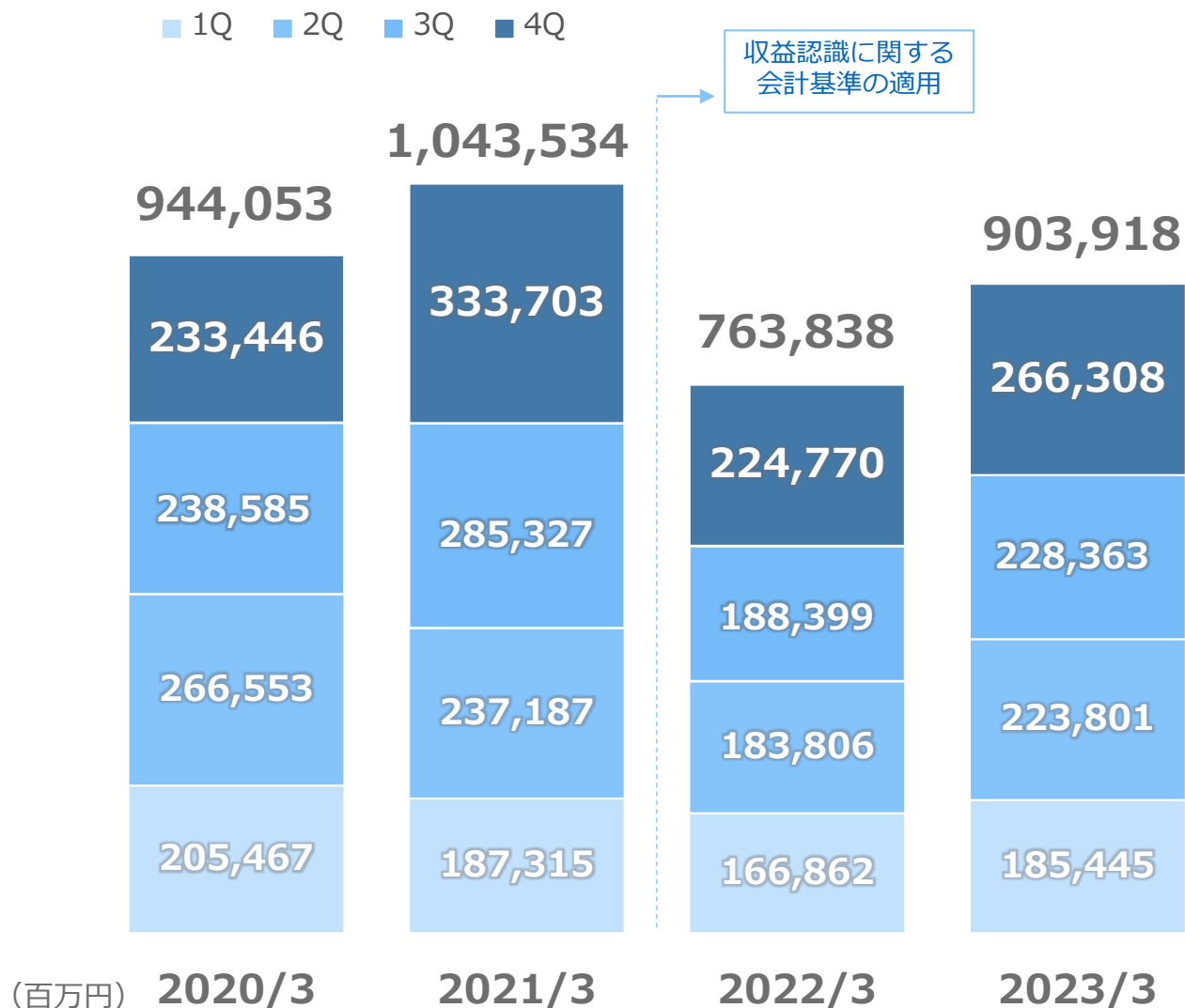
繊維事業

機能性レーヨンや建築シートの販売は堅調に推移したものの、原燃料価格などのコストアップにより利益面では苦戦が継続

産業機械事業

風力発電をはじめとするエネルギー業界や半導体、建設機械、医療機器等の幅広い業界への販売やサービス体制の強化により増収増益

2023年3月期 売上高



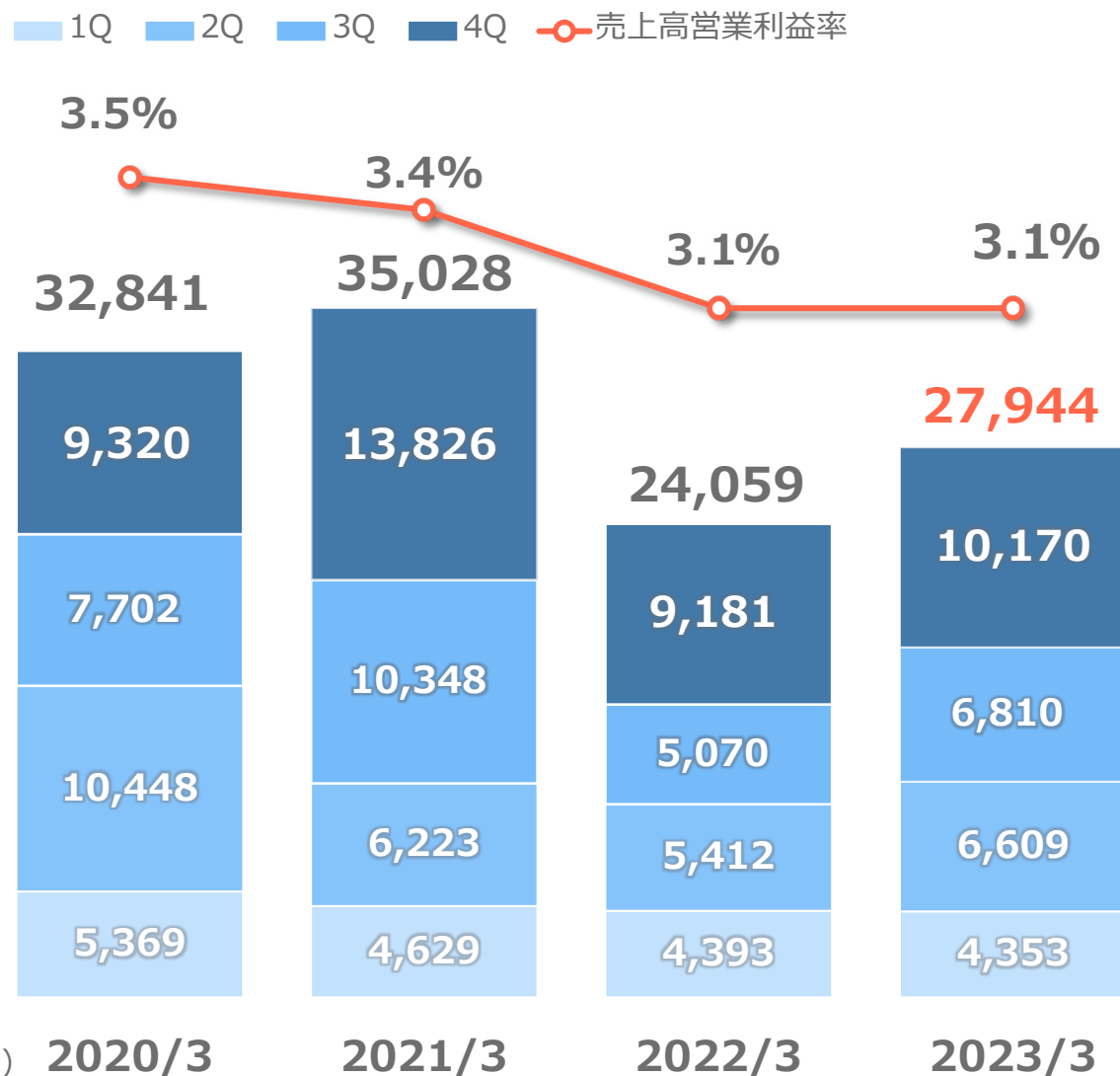
売上高 **903,918**百万円

前年同期比 + **18.3%**

業績予想比 + **2.7%**

▶ 取扱高 **962,233**百万円
前年同期比 + **16.1%**

2023年3月期 営業利益



営業利益 **27,944**百万円

前年同期比 + **16.1%**

営業利益率 **3.1%**

業績予想比 + **1.6%**

2023年3月期 連結経営成績

(百万円)	2022/3	2023/3	増減	前期比	業績予想 (2/8修正)	予想比
売上高	763,838	903,918	+140,079	+18.3%	880,000	+2.7%
営業利益	24,059	27,944	+3,885	+16.1%	27,500	+1.6%
経常利益	24,554	28,608	+4,054	+16.5%	27,900	+2.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,988	19,059	+2,071	+12.2%	19,000	+0.3%
1株当たり 当期純利益 (円)	178.14	202.79				

	2022/3	2023/3
自己資本当期純利益率 (ROE)	12.9%	13.7%
総資産経常利益率 (ROA)	6.6%	7.5%
売上高営業利益率	3.1%	3.1%

2023年3月期 連結貸借対照表 (決算短信P4-5)

(百万円)	2022/3	2023/3	増減		2022/3	2023/3	増減
流動資産	304,134	354,188	+50,053	流動負債	191,564	231,884	+40,319
現金及び預金	46,963	52,123	+5,160	支払手形及び買掛金	161,859	192,594	+30,735
受取手形及び売掛金	202,408	239,856	+37,447	短期借入金	12,589	12,869	+280
商品及び製品	38,478	39,273	+795	固定負債	28,465	30,842	+2,377
有形固定資産	38,272	37,127	△1,144	長期借入金	14,895	13,230	△1,665
無形固定資産	2,462	2,081	△381	負債合計	220,030	262,726	+42,696
投資その他の資産	11,333	13,291	+1,957	純資産合計	136,173	143,961	+7,788
				自己株式	△ 2,123	△5,137	△3,013
資産合計	356,203	406,688	+50,485	負債純資産合計	356,203	406,688	+50,485

受取手形及び売掛金	202,408	→	239,856	+37,447	DISの売上債権の増加
支払手形及び買掛金	161,859	→	192,594	+30,735	DISの仕入債務の増加
借入金合計	27,484	→	26,099	△1,385	

2023年3月期 連結損益計算書 (決算短信P6)

(百万円)	2022/3		2023/3		増減	前期比
	実績	率	実績	率		
売上高	763,838		903,918		+140,079	+18.3%
売上総利益	64,141	8.4%	70,523	7.8%	+6,382	+10.0%
販売費及び一般管理費	40,081	5.2%	42,579	4.7%	+2,497	+6.2%
営業利益	24,059	3.1%	27,944	3.1%	+3,885	+16.1%
経常利益	24,554	3.2%	28,608	3.2%	+4,054	+16.5%
特別利益	527 ※		58			
特別損失	163		475			
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,988	2.2%	19,059	2.1%	+2,071	+12.2%

特別損失

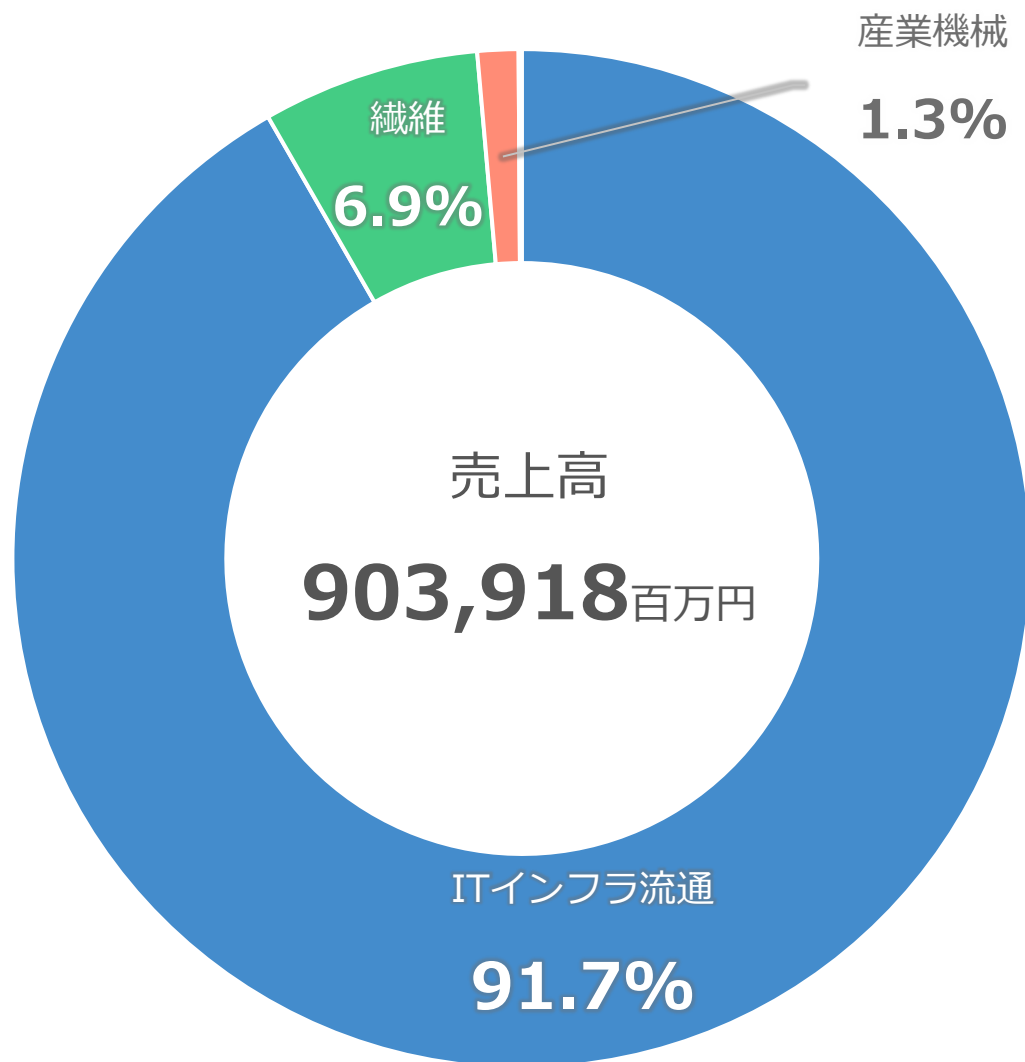
固定資産除売却損（**194**百万円）、減損損失（**191**百万円）

※前期特別利益

投資有価証券売却益（**414**百万円）

2023年3月期 セグメント別業績

(百万円)		2022/3	2023/3	増減	前期比
売上高	ITインフラ流通	691,281	828,997	+137,715	+19.9%
	繊維	58,289	61,980	+3,691	+6.3%
	産業機械	11,610	12,170	+560	+4.8%
	その他	2,657	770	△1,886	△71.0%
	合計	763,838	903,918	+140,079	+18.3%
営業利益	ITインフラ流通	21,651	25,394	+3,743	+17.3%
	繊維	1,617	1,499	△117	△7.3%
	産業機械	656	886	+230	+35.2%
	その他	130	115	△15	△11.8%
	(調整額)	4	48	+44	—
	合計	24,059	27,944	+3,885	+16.1%



売上高構成割合

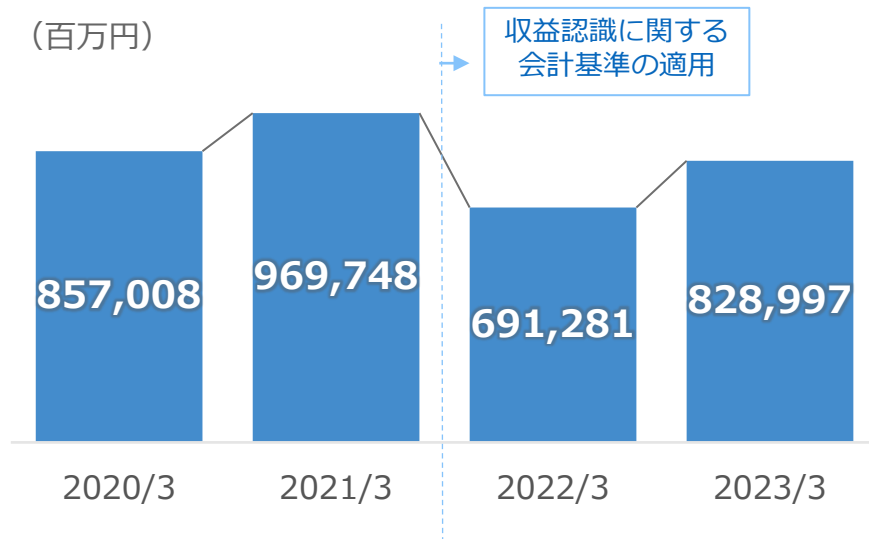
	2022/3	2023/3
ITインフラ流通	90.5%	91.7%
繊維	7.6%	6.9%
産業機械	1.5%	1.3%

営業利益構成割合

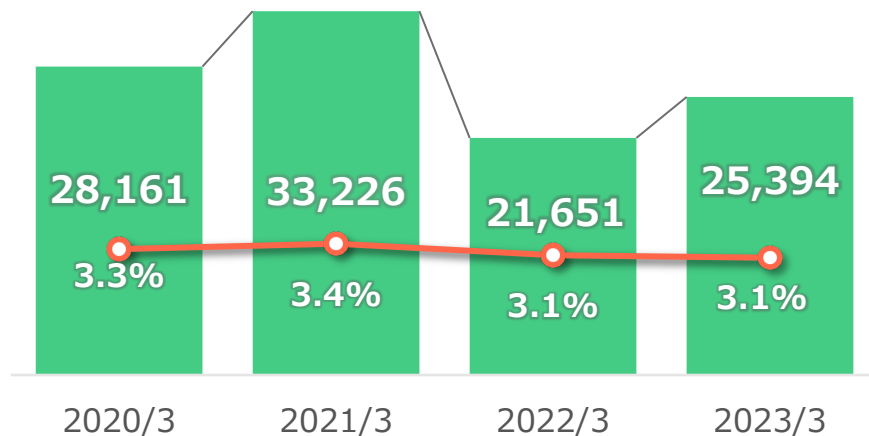
	2022/3	2023/3
ITインフラ流通	90.0%	90.9%
繊維	6.7%	5.4%
産業機械	2.7%	3.2%

(百万円)

収益認識に関する
会計基準の適用



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 売上高営業利益率



取扱高 ※旧基準売上高

887,311百万円 (前期比+**17.3%**)

売上高

828,997百万円 (前期比+**19.9%**)

営業利益

25,394百万円 (前期比+**17.3%**)

PC出荷台数

299.2万台 (前期比+**5.4%**)

サーバー出荷台数

6.7万台 (前期比+**18.1%**)

サブスクリプション取扱高

88,098百万円 (前期比+**24.4%**)

iKAZUCHI(雷)取扱高

20,499百万円 (前期比+**39.4%**)

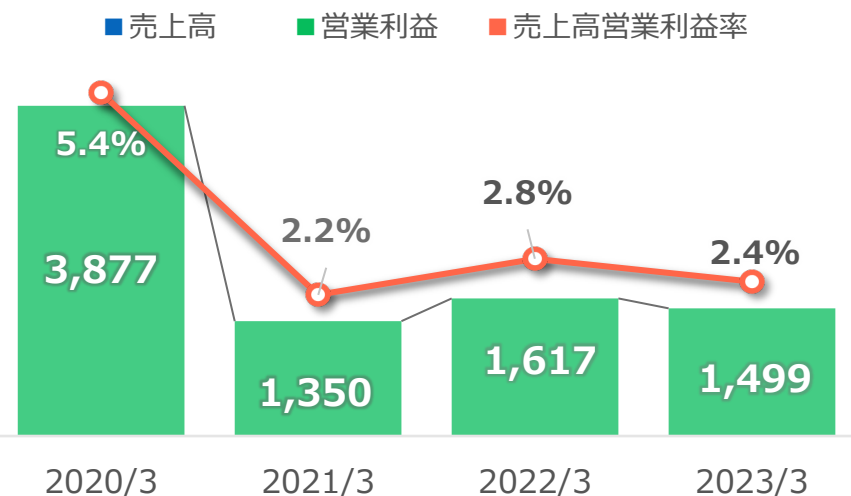
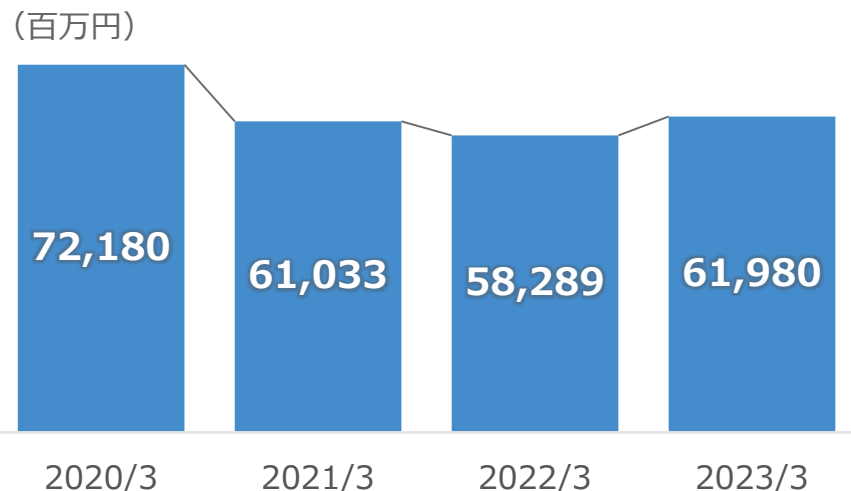
事業概況

コーポレート 向け市場

- 企業・官公庁向けは、安定的に受注を獲得しPCやネットワークを中心に実績拡大、サブスクリプション製品の契約増加によりクラウドサービスも好調に推移
- 文教市場では高校の生徒用端末や小中学校の教職員用端末の導入案件が増加

コンシューマ 向け市場

- EC向け販売は周辺機器などが低迷もPCは増加、量販店向け販売はPCや新規商材の提案が奏功したことで、全体としては前年を超える実績



売上高

61,980百万円 (前期比+6.3%)

営業利益

1,499百万円 (前期比△7.3%)

事業概況

合繊・レーヨン部門

■ 環境負荷の少ない機能性レーヨンは堅調に推移したものの、コスメ用途や除菌シート向け合繊不織布は需要回復が遅れ販売減少および利益面でも原燃料高騰もあり継続して苦戦

産業資材部門

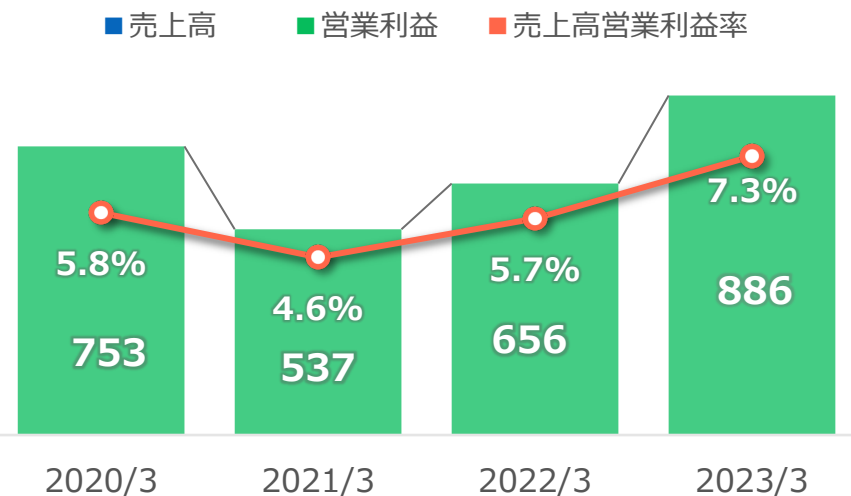
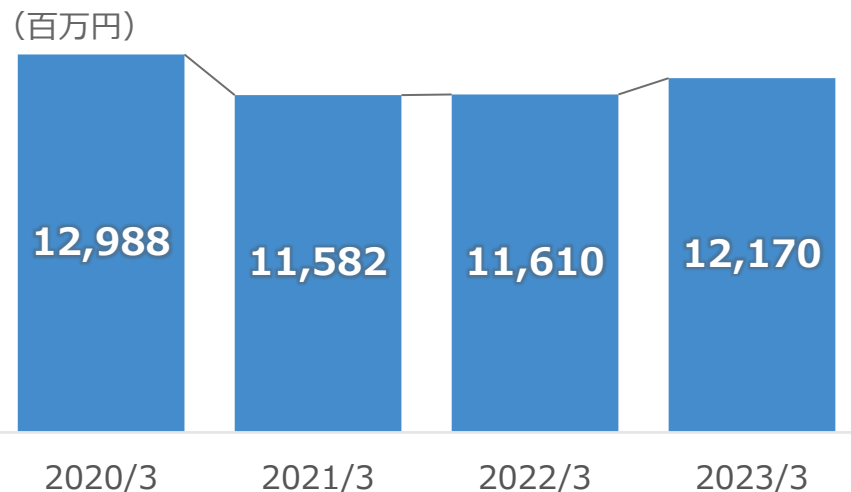
■ カートリッジフィルターの増産体制整備により電子部品メーカー向け販売は堅調に推移し、旺盛な建築需要の影響で建築シートの販売が拡大したことにより増収増益

衣料製品部門

■ 国内販売は堅調に推移したものの、米国向け販売が減少しており、円安進行を受けたコスト上昇等もあり減収減益

【ご参考】 2021/3期2Qに不適切取引の影響額を反映しております (2020/12/11開示)

	2021/3		2022/3
	影響額	影響除外時	影響除外時の前期比
売上高	△640百万円	61,673百万円	△5.5%
営業利益	△2,100百万円	3,450百万円	△53.1%



売上高

12,170百万円 (前期比+**4.8%**)

営業利益

886百万円 (前期比+**35.2%**)

事業概況

工作機械部門

- 日本工作機械工業会の4～3月受注総額は前期比2.3%増となり、主力の航空機・鉄道関連の回復はこれからとなるが、エネルギー、建設機械、半導体など幅広い業界への販売やサービス体制の強化により増収増益
- 受注高は前期比26.4%増加

自動機械部門

- 業界別の需要に応じた提案やサービス強化による収益力向上を図るも、材料費高騰の影響により設備投資に慎重な姿勢が継続し減収減益
- 受注高は前期比4.5%増加

2024年3月期 通期業績予想

(百万円)	2023/3 (実績)		2024/3 (予想)		増減	前期比
	金額	率	金額	率		
売上高	903,918		950,000		+46,081	+5.1%
ITインフラ流通	828,997		872,700		+43,702	+5.3%
繊維	61,980		63,680		+1,699	+2.7%
産業機械	12,170		13,000		+829	+6.8%
営業利益	27,944	3.1%	30,700	3.2%	+2,755	+9.9%
ITインフラ流通	25,394	3.1%	26,550	3.0%	+1,155	+4.6%
繊維	1,499	2.4%	2,955	4.6%	+1,455	+97.0%
産業機械	886	7.3%	1,150	8.8%	+263	+29.7%
経常利益	28,608	3.2%	31,000	3.3%	+2,391	+8.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	19,059	2.1%	20,420	2.1%	+1,360	+7.1%

1株配当

自己株式取得

配当性向

総還元性向

2023年3月期

中間 30円
期末 32円
年間 62円

約30億円 (2022/5/13~10/31)

30.6%

46.2%

2024年3月期 (予想)

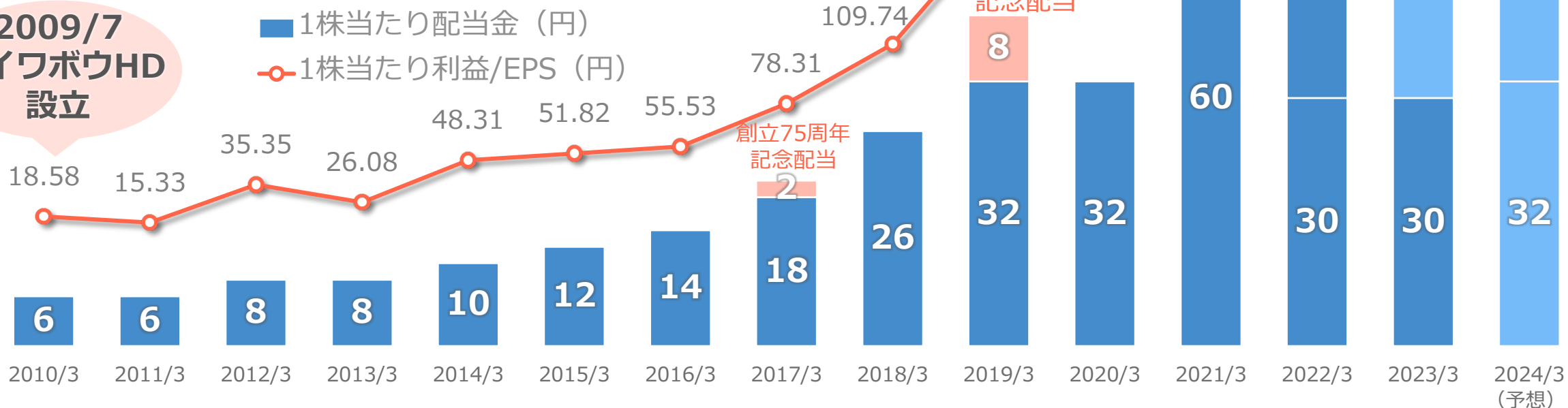
中間 32円
期末 32円
年間 64円

今期も継続実施を検討中

29.5%

—

2009/7
ダイワボウHD
設立



※株式併合 (2017/10/1) ・ 株式分割 (2021/4/1) を過年度に遡及して表示

次期中期経営計画での重点検討事項

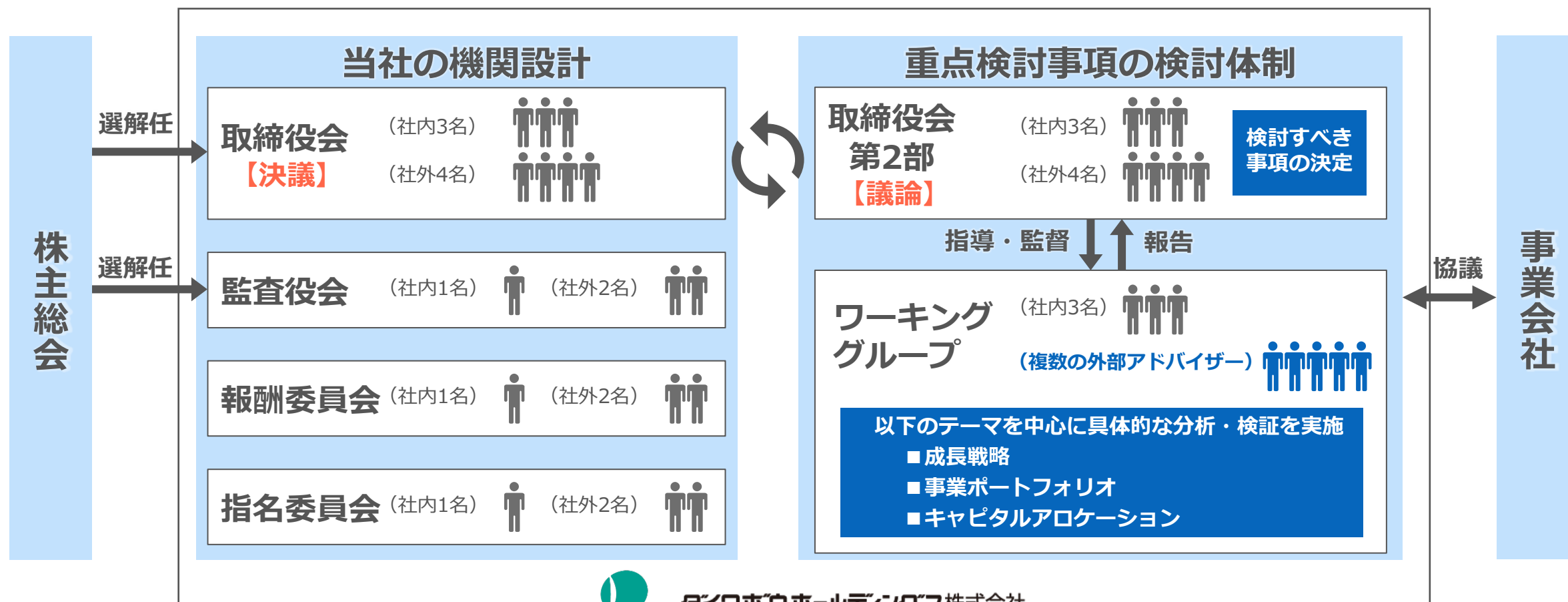
2024年5月発表予定の次期中期経営計画策定に先立ち重点検討事項と検討体制を整理

検討すべき事項	概 要	現状のステータス
全社パーパスの確立 と成長戦略の策定	■ 当社グループのアイデンティティを見定め、社会的な時流と会社組織のDNAを踏まえたパーパスを確立 ■ 会社として何をコアとして、そこを起点にどのように収益性を最大化し、当社の社会的意義を実現していくかという観点で成長戦略を策定	■ 当社のパーパスを統合報告書にて今期発信予定 ■ どの分野で成長が見込まれるのか、また付加価値があるかを検証しながら、成長戦略を検討中 ■ 課題としてはシェア拡大や顧客価値の実現のための持続的な成長投資
グループ全体での 価値最大化に向けた 最適な事業ポート フォリオの確立	■ 経済産業省策定の事業再編実務指針等を参考にしながら、既存事業についてベストオーナー原則と事業環境評価、資本収益性を検証した上で、企業価値最大化のために適切なタイミングで戦略的選択肢を実行し、最適な事業ポートフォリオを確立	■ 繊維事業については、企業価値最大化に向けた戦略的選択肢としてグループからの独立化を検討中 ※大和紡績を交えた具体的な協議を開始しており、株主・従業員・取引先等にとって適切な方法で繊維事業の価値向上に寄与する選択肢を検討
成長投資と株主還元 の最適化の実現	■ 資本コストを踏まえた最適な成長投資と株主還元を実現し、企業価値の向上を目指すキャピタルアロケーションの方針を策定 ■ 「ヒト・モノ・カネ」のリソース配分の最適化と、株主へのリターンを最大化できる資本政策の確立	■ 各事業会社で生み出された収益の配分方針について、それぞれの事業ごとの業績拡大に向けた成長投資のみを優先するのではなく、グループ全体としての収益性の最大化を目指すためのキャピタルアロケーションを検討中

重点検討事項に関する検討体制

社外取締役を含む取締役会において検討すべき事項を決定し、社内取締役と外部アドバイザーが参画するワーキンググループにて分析・検証した上で、取締役会で議論・決議を実施

検討結果は2024年5月発表の次期中期経営計画にて開示予定、それまでにアクションがある場合は適宜開示を行う



グループ各社の責任と権限の明確化



取締役会の独立性・多様性確保 (※株主総会后)

新たに**独立社外取締役 1 名の選任**を上程

独立社外取締役比率 **57%** → ※**62.5%**

女性取締役比率 **29%** → ※**25%**

スキルマトリックス (招集通知に掲載)

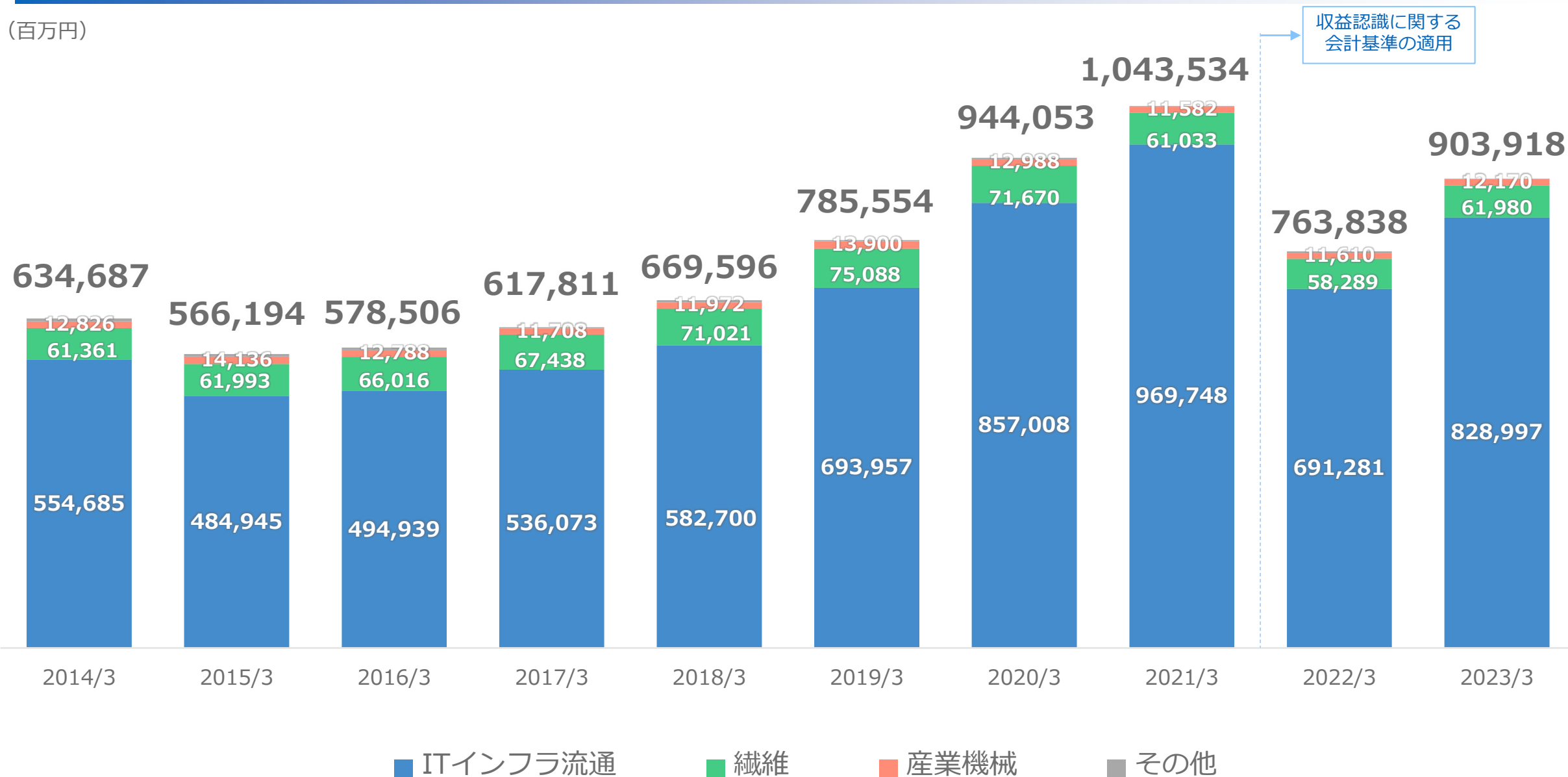
企業経営全般	経営企画 経営戦略	法務 コンプライアンス ガバナンス	財務・会計 ファイナンス
人事・労務 人材開発 ダイバーシティ	I C T D X 関連	E S G S D G s	国際性

【参考資料】

➤ 業績推移グラフ

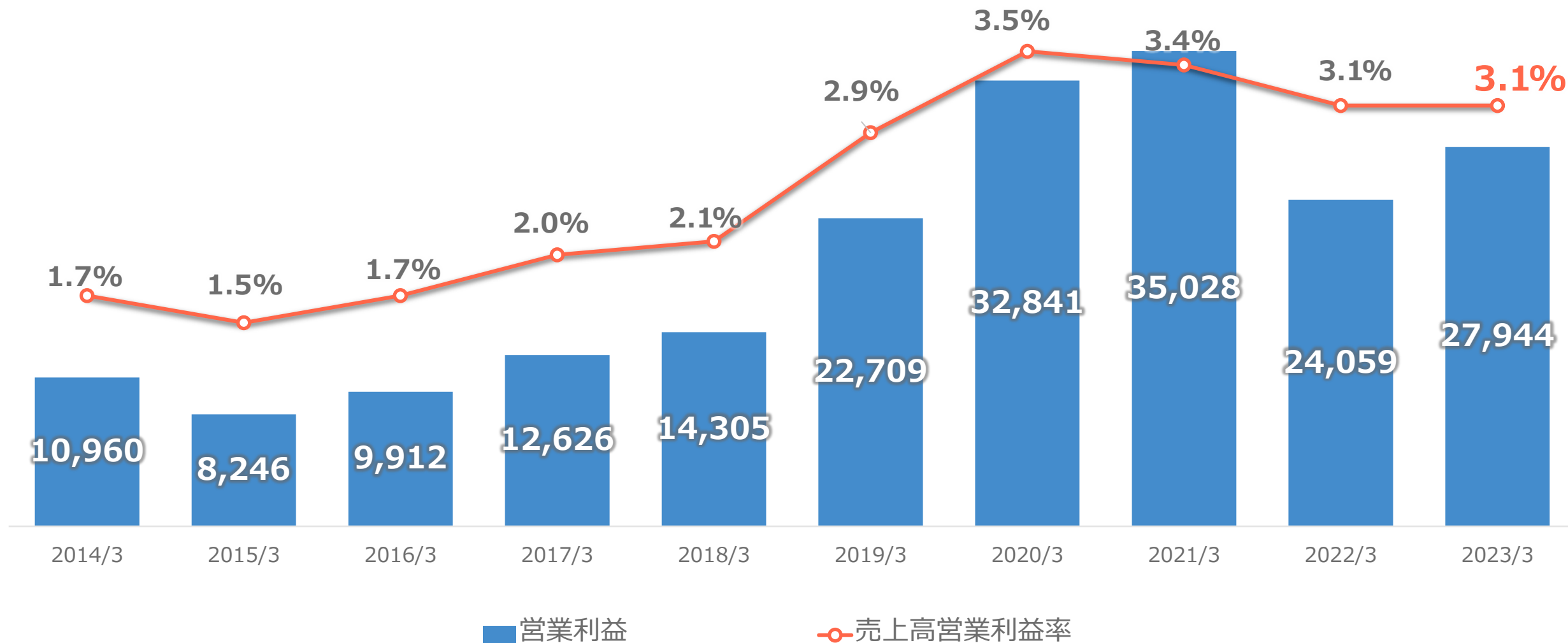
連結売上高

(百万円)



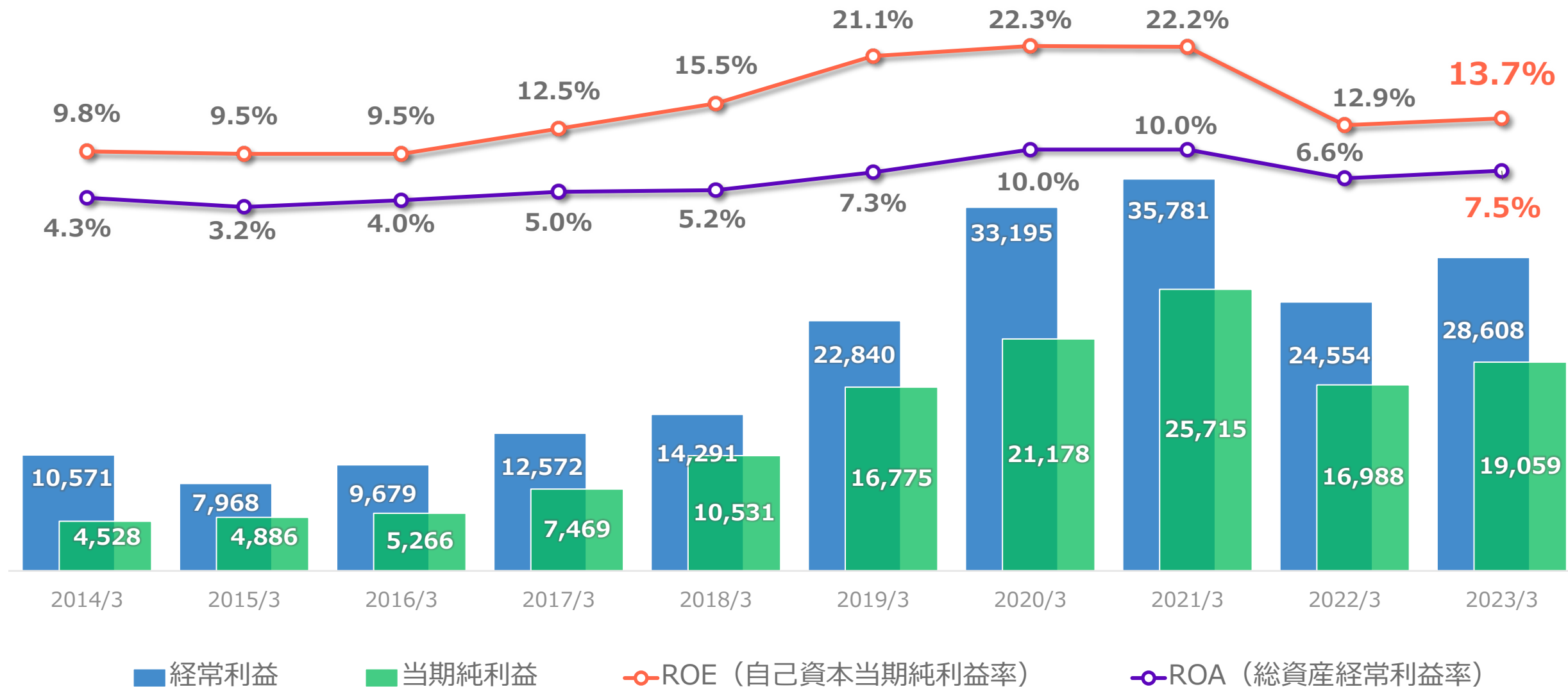
連結営業利益

(百万円)



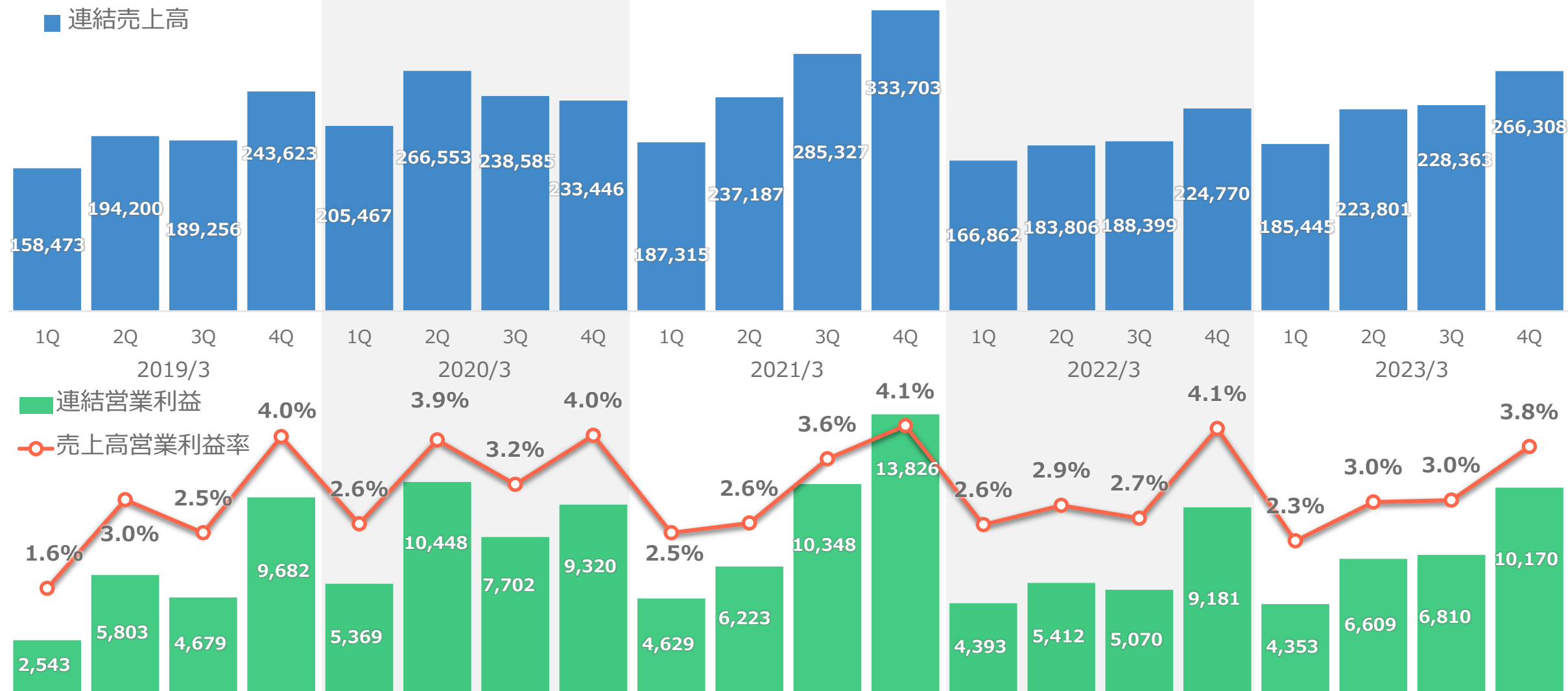
連結經常利益・連結当期純利益

(百万円)



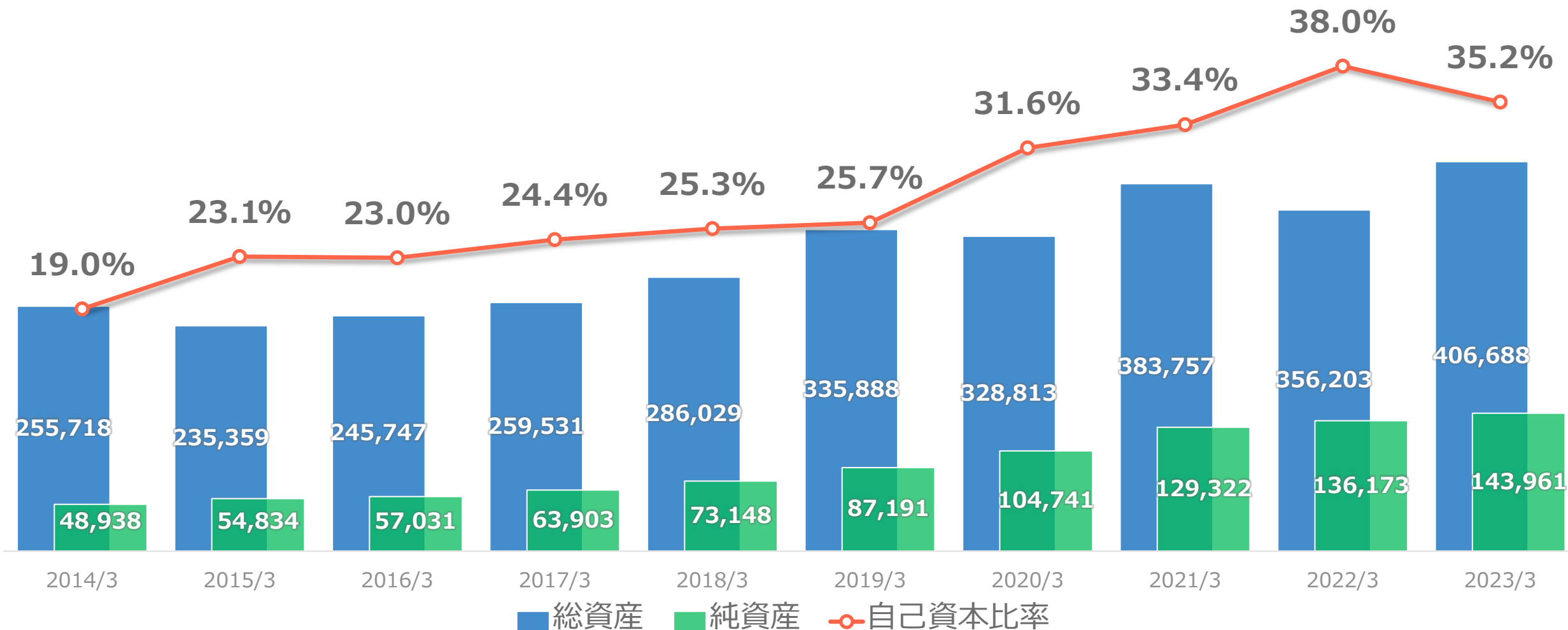
四半期別業績

(百万円)



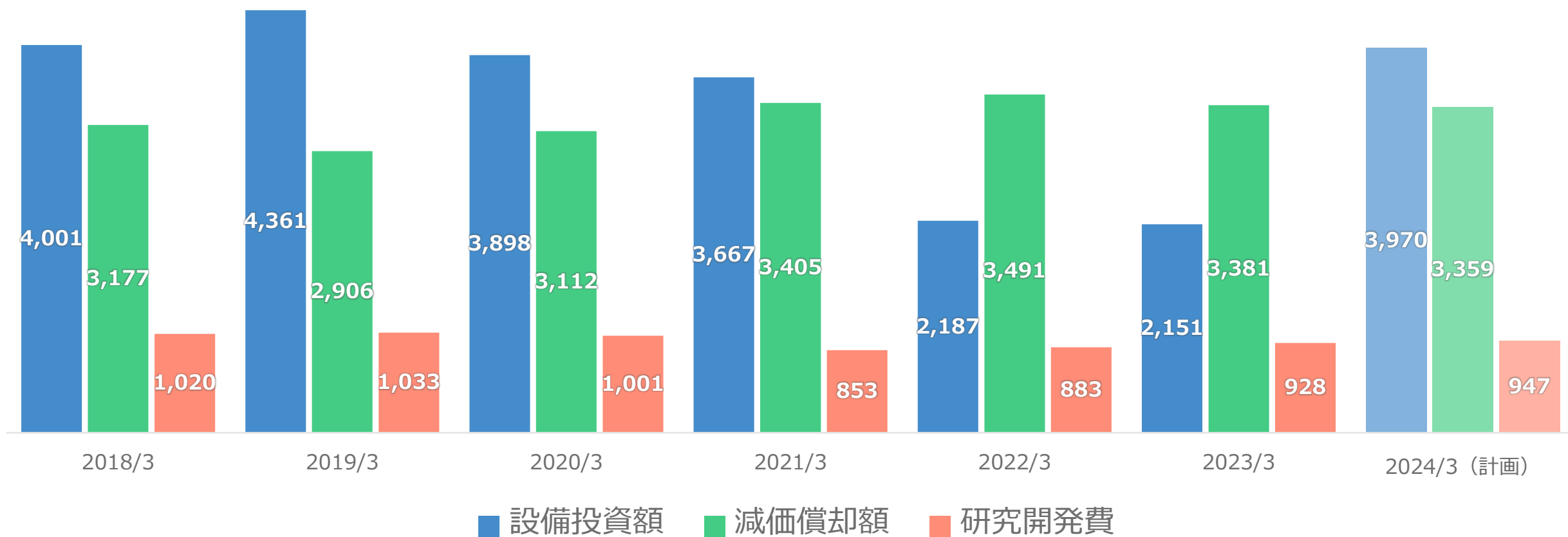
連結総資産・連結純資産・自己資本比率

(百万円)



設備投資額・減価償却額・研究開発費

(百万円)



<https://www.daiwabo-holdings.com/>



ダイワボウホールディングス株式会社

【免責事項】

本資料に記載された業績予想値等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに、当社が現時点で合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、その正確性を保証するものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の内容と異なる可能性のあることをご承知おきください。なお、当社は理由の如何にかかわらず、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても責任を負うものではありません。

※本資料中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。